令和6年度 行政改革審議会（外部評価） 議事録要旨

日 時	令和7年1月28日（火）午後4時～5時15分	
場 所	市役所 第10会議室	
出席者	委 員	（会長）高松淳也、（副会長）赤木禎行、熊谷忠信、小山敦、齊藤直基、杉戸厚吉、寺田覚、山本美由湖
	事務局	市長、副市長、企画部長、行革・政策監、経営管理課長、経営管理課課長補佐、経営管理課（行革・経営係長、行革・経営係専門主査、行革・経営係専門主査）
次 第	1 会長あいさつ 2 議題 (1) 事務事業総点検について (2) 外部評価報告書について 3 外部評価報告書の提出	

- 1 会長あいさつ
- 2 議題
 - (1) 事務事業総点検について

（事務局説明）

・会長

それでは、ご意見やご質問等ありましたらご発言のほどよろしくお願ひします。

・委員

お聞きしたい点があります。「見直し」という項目でいくつかの事業が挙げられていて、この概算効果額ということで金額が記載されています。これについては、要は経費がこれだけ減ったという意味合いの数字なのかなと思いますが、一方で、民間への借地ということもあって、これは収入になるのでしょうか。マイナスの部分と、プラスの部分と両方あるというという理解でいいのかどうかということが一点。

もう一点、この見直しの視点ということで、業務の縮小というのか、経費的削減効果があるという視点だけで見直しをされているのか。あるいは社会情勢の色々な変化の中で、事業内容自体をニーズの変化に合わせて対応していく、変えていく場合だと、場合によっては経費が増える可能性もあります。この辺の見直しの視点というのは、数字を見ると経費的な削減効果がすごく強調されているような感じがするのですが、それだけで見直しをされているのか、あるいはその業務の内容について、ニーズの変化に対応した形の見直しをされているのかについ

て教えていただきたいと思います。以上です。

- ・ 経営管理課長

1点目の削減効果額と財源確保の額があるのではないかとということで、表記がわかりにくくて申し訳ありません。両方の観点から表記をしております、両方の視点で総点検をしてみました。歳入の見込みあるものと、削減効果あるものの両方の表記がされております。事業の中で、その社会情勢に合わせて見直していくと効果額を生み出せるのではないかとという視点もあるかと思しますので、そういった視点でも実施しております。まずは事業の見直し、削減効果という視点で点検しております。今後、社会情勢の中で必要な部分につきましては、また改めて継続的に事業の見直し等で進捗管理をしていく予定です。

- ・ 会長

他にはいかがでしょうか。

- ・ 委員

効果額が非常に大きく出ているのは非常にいいのですが、5の総点検結果というところで見ると、これの効果額は単年度のものですね。平成28年度の効果額は5年効果額ということで併記されているのですが、効果額は単年度だけではなくて、トータルでどれくらいの効果額があるかということが非常に重要かと思えます。そういう意味では、今回単年度の効果額になっているのですが、それぞれの項目に対して単年度でだけでなく、長く長く続くものについては、効果額が非常に大きくなります。単年度と、それからあと何年間続くから、トータルでいくら効果があるか。単年度だけでなく、継続して大きな効果額があるものについては二つ併記されると、さらに推進していくという見方ができると思いました。

- ・ 会長

事務局いかがでしょうか。

- ・ 経営管理課長

ご指摘のとおり、こちらの数字の表記につきましては、あくまでも単年度の数字もありますし、また長期的な数字も見込んでこの金額になっております。前は単年で3億円、5年5億円です。それに比べると、今回は1億円になっていきます。今回は同じ内容ではないものですから5年効果額と比較するのは難しいので

すが、前回と比較すると、前回はゼロベースから始まっているということと、今回は総点検で事務事業を一度見直した上での効果額です。いろんな視点があるかとは思いますが、1年の効果額もあれば、3年を見越した効果額というところで、わかる範囲で効果額は出したというのが現状です。また今後、今回点検した事業については進捗管理していきますので、引続き総点検の視点を含め、事務事業の見直しをしていきたいと考えております。

- ・ 会長

他には何かありますか。

- ・ 委員

最後のスクラップ、職員のご提案のところがよくわからなかったのですが、職員提案のテーマ賞という割に、中身がかなり市の事業に対する大きな捉え方だと思えます。これは個人個人の提案がこのように出て、令和15年ぐらいまでのすごく長期の計画レベルのご提案をされているということでしょうか。

- ・ 経営管理課長

こちらの方につきましては、まずは国の指針があります。いろいろな計画が多岐にわたって作られている現状を踏まえて、各自治体で統廃合できる計画については統廃合をするようにという指示がありまして、それをきっかけに今回の総点検と併せて職員提案で計画スクラップ部門ということで、新たな取組をしたところです。この職員提案で、職員各個人が現状を踏まえてスクラップができる計画の提案をしていただいたのがこちらの一覧です。実際には、実現に向けて準備等が必要な部分は多々あると思えますが、そういったところを含めて、今後、計画スクラップができるところは進めていく、継続的に職員に周知をしていくという形でやっていくということになります。

- ・ 委員

わかりました。職員の方々がこういう計画があるけれども、これは統廃合をしてもいいのではないかと提案をしてくれたということですね。

- ・ 会長

他にはいかがでしょうか。

- ・ 委員

5の総点検結果のところですが、R5年度事務事業数が480、業務数が559とあります。これは、その前の年に比べて、事業数が減っているのかどうなのでしょう。

- ・ 経営管理課長

事業数は、前年と比較すると変更はございません。8年前ですと800もありまして、この倍以上ありました。それは前回の総点検で見直されておりました、事業数は徐々にスリム化してきたのですが、業務数は559となっており、少しずつ差異はありますが、大幅に減ってはおりません。

- ・ 委員

今年というか来年以降、廃止等で事業数が絞られるという状況ですね。町内会長連絡協議会では今9人理事がいて、いろんな審議会、評議会が毎年増えています。副会長2人体制だったのが3人、今4人まで増えています。なぜかという、1人につき10業務ぐらい審議会を持ったりしています。事業数や業務数が減ってきているという割には、いろんな会議が増えてきているのではないかなと思うのですが、いかがですか。

- ・ 経営管理課長

先ほどの計画スクラップにも関連しておりました、計画に付随した審議会もありますので、計画が減ると審議会も必然的に減るという発想もあります。そういったところも含めて、各所管で事業の見直しを引続き継続して行っていくこととなります。今すぐ町内会の審議会が減るといった回答はなかなか難しいところではあります。そういった視点で引き続き各所管で見直していくように周知はしてまいります。

- ・ 委員

あと一つ、いろんな事業を行うに当たって、例えば審議会を行う、パブコメを行う、ヒアリングやアンケートを行う。そういうのは別の会議で評価をしたりするのですが、評価のときにこれはどうかという話が出てくるものですから、やはり最初に何をやるかということ、どうやるかということをもうちょっと詰めていただいた方が相当時間数の削減ができるのではないかと思います。

- ・会長

他にはいかがでしょうか。それでは、議題1は以上とさせていただきます。続きまして、議題2「外部評価報告書について」を事務局から説明をお願いいたします。

(2) 外部評価報告書について

(事務局説明)

- ・会長

それでは、別途事務局から事前にお配りしている報告書(案)のファイルもご覧いただきながら、ご意見、文案についてご意見等やご質問等あればよろしくお願いたします。

- ・委員

特に、報告概要の修正とかそういう話ではないのですが、今回の事業の中で、評価した時点で、特に部活の地域移行については、国の方針がまだあやふやなところがあって、今後どういうふうになるかという方針が徐々にはっきり出てきているところです。まだはっきりしないところがあって、とりあえず今市の方としては、指導者の育成を重点的にやる、それは当然に必要なということで外部評価を行ったのだと思います。今後、休日の移行から平日まで含めた移行ということになった時の受け皿、行政がどこまでその受け皿作りに関与するかといったことは今の段階では明確になっていないし、この前お聞きした範囲の中では、あくまで地域スポーツクラブの主体的な運営ということで行政としては考えているという話で、あくまでも行政は指導員の育成、あるいは指導員の資質の向上という話だったのですが、国の方針もどんどん変わってくる中で、地域スポーツクラブの育成や、学校とスポーツクラブの調整をする新たな組織とかそういうものが必要な可能性もあります。今回の評価はそれでいいとして、今後の変化の中で見直しをしないといけない場合に、どういうタイミングで、各部署が判断していくのか、あるいは市全体で評価システムの中で見直していくのか、方向性についてわかる範囲で教えていただければと思います。

- ・経営管理課長

今回の報告書の内容で、地域移行の課題として議題を挙げているのですが、実

際は、現状のスポーツ指導者養成講座で指導者の充実を図りたいという点が大前提にあります。地域移行の課題を認識した上で、こういった事業が今後必要であろう、今回は指導者の「拡充」ということをご理解をいただいておりますが、今言われたように、実際に安城市としても地域移行の課題をそれで解決しているという認識ではありません。学校教育課ですとか、別の教育委員会の組織と連携していく必要があるという課題は認識しております、こういった形で地域移行が進んでいくかということはまた今後の課題として認識した上で、事業の方を展開していくかとは思いますが。経営管理課としましても、外部評価のこういった報告ですとか、どのような仕組みがいいのかということは課題として認識しております、今後外部評価について、引続きこういった形がいいのかということを検討してまいります。

- ・委員

そういうことだと思います。ただ、取組方針を公表するというステップがありますので、そうすると、取組方針自体も状況に応じて変えていかなければならないということもあります。その辺の取組方針の見直しですとか、公表された令和7年3月末に公表された取組方針の見直しを、どういうステップやっていくのかといったことは明確にしておいたほうがいいのではないかと思います。

- ・会長

他にはいかがでしょうか？

- ・委員

評価の方針については特にありませんが、多文化共生について、安城市では今後もさくら庁舎にある国際交流の場所を検討して、展開していくと思いますが、やはり安城市の場合、外国人がたくさん住んでいる地域と、ほとんどいない地域があります。私がおります祥南学区というのは、古井団地と秋葉団地とあって、外国語6か国語、7か国語で授業をやっているような地域で、来年度以降には学校と地域とのコミュニティスクールといったものがあるのですが、コミュニケーションを取るだけでも大変です。さくら庁舎の事業のイベントのチラシを持って行って、こういうことやっていますよということがなかなか伝達できません。安城市内で地域を設定して、最初に重点的に取り組んでいったらどうかと思います。学校が、不登校とかいろんな問題を学校だけでは処理ができなくなって、地域と一緒にやっていこうということだと思いますが、地域では外国人とイベントとか

いろんなことやって付き合いをしております。そういうのを利用していくといいと思いますので、ぜひ担当の取組を求めるところに、安城市として取組を推していただけるといいと思います。

- ・会長

事務局いかがでしょうか。

- ・経営管理課長

委員が言われたとおり、報告書の内容についても、多文化共生の交流事業につきましては「拡充」という判断をいただいております。今おっしゃられた内容や視点も含めまして、検討してまいりたいと思います。

- ・会長

他にはいかがでしょうか。

- ・委員

5の総括的な意見①のところですが、一部説明がわかりにくいところあったのですが、全体は非常に良かったと思います。そういう意味で言いますと、総括的な意見①でこの表現が出ると、全体的にわかりにくかったという印象を与えてしまいます。一部わかりにくいところもあったのですが、全体を見ると非常に良かったと思いますので、①の表現については少し見直された方がいいのではないのでしょうか。この表現ですとネガティブで、基本はポジティブなことだと思います。せっかくですので、もう少しポジティブな表現にされた方がいいのかなと思います。どうでしょうか。

- ・会長

いかがでしょうか。皆さんご意見いかがですか。

- ・委員

おそらく、これはAグループからも上がってきたのではないかと思います。グループの最初の評価の際に、安城市外から来られている委員がいて、キーポートの場所がどこにあるかも知らないという状況がありました。最初に、どこにあって、どういうことをやっているかといった説明が少なく、突然キーポートの管理、指定管理の部分だけ挙げられていたものですから、説明がわかりにくいなど

ということで多分意見が出たのではないかと思います。

- ・委員

この総括的な意見の①にこれが出てくると、全体的に説明がわかりにくかったと誤解を受けるかなという心配をしています。

- ・会長

私も、確かに案を読んでも「一部」というフォローがありませんでしたので、委員がおっしゃるように、これだと全部が全部いけなかったみたいな印象になりますので、修正した方がいいかなとは思っています。他にご意見はいかがでしょうか。

- ・委員

私は、意見の羅列ということで見る分には、そういった意見もあったという記載でもいいかと思いますが、今ご覧になられた方で、この一番にこういう形の表現があるとということが懸念されるのであれば、表現を柔らかくしたり、あるいは順番を変えるということでもいいのではないかと思います。

- ・委員

私も今のご指摘を受けて確かにそのように思いますし、総括的な最後のまとめという意味では、これが最後でもいいかなとも思います。今後、次回に向けてということで、こういった課題や論点を明らかにした上で臨むと良いのではないかと、というような簡単な表現にされたらどうでしょうか。

- ・会長

この総括的な意見を拝見すると、おそらく①②③が事務事業総点検の際に出された問題点や意見で、④⑤は今後の広報の周知とか、今後のフィードバックですので、②③①の順番にして、どちらが行政的にいい文章なのか判断が付き兼ねますが、一部説明がわかりにくかった部分があったとする文章にするか、最後の評価しなければいけないことがわかりにくい事業もあったという文章にするか、そういう形でフォローを入れるのはいかがでしょうか。事務局、今修正できますか。

- ・経営管理課長

今のご意見を参考にして修正させていただきたいと思います。

・会長

他にはいかがでしょうか。修正ついでに申し上げますが、些末な内容ですが、6頁のナンバー2の部活動の案の方なのですけれども、事業内容のところにスペースが二つ入ってしまっています。それもついでに修正をお願いします。

他にご意見はありますか。そうしましたら、今指摘のあった2点につきまして、10分程度で修正いただくという形にしたいと思います。

・経営管理課長

もう一点修正箇所がございまして、1頁目の(2)の外部評価対象事業の選定のところで、「下記の5事業」と書いてありますので、「4事業」に修正する形にしたいと思います。

・会長

修正が完了したようですので再開させていただきます。先ほどご意見があった箇所につきまして、事務局から説明をよろしく願いいたします。

・経営管理課行革・経営係 専門主査

ご提案いただいたとおりに修正させていただきました。まず、一つ目のご意見につきましては、3番目に持ってきております。文面につきまして、「担当課によっては説明がわかりにくい箇所があったり、評価区分表に記載された評価イメージと担当課の説明内容との間にずれがあったりしたため、課題や問題点、論点が何かということや、何を評価しなければいけないかといったことが明確でない事業も見受けられた」という形で修正しております。

・会長

まず、この点につきましていかがでしょうか。よろしいですか。

(賛成の声)

・会長

よろしいですか。その形をお願いします。

・経営管理課行革・経営係 専門主査

他にも2点修正しましたのでご説明いたします。先だってお送りした資料、こ

ちらの方が「下記の5事業」となっておりましたので、こちらの方も「4事業」に修正しております。スポーツ課の文章ですが、二つスペースが空いておりましたので、一つスペースを詰めております。文章の方に変更はございません。

・会長

この点についてもご確認いただけましたでしょうか。他にご意見やご質問等はありませんでしょうか。特にないようですので、令和6年度安城市行政評価外部評価報告書案につきまして、修正案とお認承するという事によろしいでしょうか。

(異議なしの声)

・会長

ありがとうございました。以上で本日の議題は終了ということになります。それではマイクを事務局の方にお返ししたいと思います。

(外部評価報告書の提出)